

視点

「地域医療介護構想」 を目指して

昨年末、厚労省の検討会で新たな地域医療構想（新構想）に関するとりまとめが行われた。2040年まで複合的ニーズを抱える85歳以上の者が増加するので、高齢者救急とあわせ、医療介護連携や在宅医療・介護が重要との認識の下、介護保険では既に40年からのバックキャストで計画策定されており、医療側もようやく追いついた感がある。

新構想では、在宅医療、介護連携等は、市町村等より狭い区域を設定し、介護関係者や市町村も参加した協議を実施するというが、

そもそも在宅医療・介護連携推進事業は、介護保険の地域支援事業だ。また、在宅医療、介護施設、療養病床の一部は患者像が重複するので、これらや高齢者住まい等もあわせた構築が重要だとする。

こうした新構想の考えを介護保険計画にも反映させ、整合性を確保するには、上位の医療介護総合確保法の総合確保方針に位置付け、統一的な方針の下に計画策定を進める必要がある。

さらに、医療計画の基準病床数で必要病床数を勘案するというが、精神、感染症、結核、一般・療養と区分が明確な病床を厳格に規制する基準病床数と、一般・療養の中で区分が相対的な病床機能を地域の協議で取れんさせる必要病床数の違いをどうするのか。ガイドラインで明確化が求められる。

医療計画と違い、介護保険計画は保険料算定の前提で26年内にはサービス見込量は大方固まる。新構想のガイドラインに1年、策定にまた1年かけていて、27年度からの第10期介護保険計画に間に合うのか。「地域医療介護構想」の策定のためには、国は地域の協議にこそ時間を譲るべきだろう。

社会保険旬報

目次

No.2954 2025年2月11日

視点

「地域医療介護構想」を目指して 3

座標

石破首相が施政方針演説 4

医療法等改正法案などを提出

8割弱が地メディへの転換予定なし

7年度年金額は1.9%引上げ 5

レコーダ

日本在宅療養支援病院連絡協議会が

研究会

在支病が地域医療の中心に

地メディの理念が重要 6

動向

電子処方箋の導入率

医療機関は1割未満

今夏に新目標を設定

一厚労省が医療保険部会で方針 12

ジュネーヴからの便り^⑧

東地中海

中谷祐貴子 16

潮流

在宅看取り患者家族満足度調査を実施 .. 17

医療DX推進体制整備加算で答申 18

9年度医学部臨時定員の適正化を了承 .. 20

製薬業界が創薬支援基金に慎重姿勢 21

協会けんぽの県別保険料率が決定 22

第61回診療報酬請求事務能力認定試験

歯科・学科・実技試験問題の解答と解説

..... 47

雇用・労働の動き 49

編集室・ワードカプセル 50